

<プレスリリース>

2018年10月31日

株式会社Sk e e d

Web サービス、Web アプリケーションにおける 大容量ファイル転送が飛躍的に速くなる 新製品 SkeedWebGo を提供開始

ネットワークソリューション製品を開発・販売する株式会社Sk e e d（スキード）（本社：東京都目黒区、代表取締役 CEO：明石 昌也、以下Sk e e d）は、Web サービス、Web アプリケーション向けに導入容易性に優れた大容量高速ファイル転送ミドルウェア「SkeedWebGo」の提供を開始したことを本日発表しました。

【発表の概要】

Sk e e dは昨年、専用クライアントや Java などの実行環境を必要としない、Web サービス上で完結する新方式の高速ファイル転送技術の開発に成功しました。この技術の性能向上を図ると共にシステム連携機能を付加した第一弾の製品として、高速ファイル転送ミドルウェア「SkeedWebGo」の提供を開始しました。同製品の狙いは高速転送性能と導入容易性の両立であり、これまで提供してきた UDP^{※1} ベースの高速ファイル転送製品を環境によっては凌駕する性能を実現すると共に、UDP ポートの開放や Java、専用プラグインソフトなどが不要、しかも Web ブラウザが使える環境であればパソコンだけではなくタブレットやスマートフォンで利用可能なユーザビリティを実現しました。

主なユーザー層としてオンラインストレージやファイル転送サービス事業者、自社・グループ内、取引先とのファイル共有基盤を構築運用する事業者を想定しており、Web サービスや Web アプリケーションとしてファイル転送機能を備えたシステムであれば、簡単に連携することで飛躍的に転送性能を向上させることができます。

すでに導入実績も出ており、クラウドストレージサービス「セキュア SAMBA」を手掛けるスタートアップレイズやテレビ局で転送基盤プロダクトとして採用されたほか、建設業界や科学技術計算分野などでも検討が進んでいます。

今後はさらに同技術を用いたパッケージ製品の開発も計画しており、これまでの高速ファイル転送ソフトウェアにない導入容易性とユーザビリティに優れた製品としてリリースする予定です。

2年後ともいわれる『5G』時代の到来においても、ファイルサイズは巨大化の一途をたどり、高速化へのニーズが鎮まることはありません。Sk e e dはこれまで培ってきたネットワーク分野の先端技術を進化させる Web サービスやアプリケーションに適用することで、企業や個人のクリエイティビティや生産性向上を実現して参ります。

※1：インターネット通信プロトコルの1つ「User Datagram Protocol」の略

【転送性能（実測値一例）】

1) 東京-東京（首都圏内）の転送（AWS Tokyo m5.xlarge Amazon Linux）

ファイル容量	SkeedWebGo	HTTP	対速度比較
512MB	6.4秒 (637.7Mbps)	40.1秒 (102.2Mbps)	X6.2
1GB	10.8秒 (759.0Mbps)	79.4秒 (103.1Mbps)	X7.8
28GB※参考	272.05秒 (843.1Mbps)	転送失敗	—

2) 東京-米国オレゴン州（AWS Oregon m5.xlarge Amazon Linux）

ファイル容量	SkeedWebGo	HTTP	対速度比較
512MB	35.5秒 (115.4Mbps)	470.5秒 (8.7Mbps)	X13.3
1GB	65.1秒 (125.9Mbps)	転送失敗	—

クライアント: Windows 7 64bit Intel Core i7-3770 3.40Ghz メモリ 16GB
Google Chrome 61.0.3163.100 (Official Build) (64 ビット) (cohort: Stable)
※回線はいずれもベストエフォート1Gbps

※上記記録は実測値の一例であり、回線コンディション等により大きく異なる場合があります。

SkeedWebGo は本来、HTTP/HTTPS では転送する事さえ難しい大容量ファイルや遠隔地に対しても高速かつ安定的に送り届けることができます。また、近距離間でも顕著な優位性を発揮します。

【特長】

1) 低い導入障壁

ウェブサーバーにSkeedWebGoをインストールし、ウェブページに対してクライアント用JavaScriptを追加するだけでファイル転送の高速化が可能です。※詳細はお問い合わせ下さい

2) 高速性

独自のデータ転送方式により、通常のHTTP(S)と比較して高速にファイルを転送します。

3) セキュア性

HTTPSと同様のサーバー証明書設定で通信データは全て暗号化。(HTTPSと同等のセキュリティ)

4) ユーザビリティ

ウェブサイトに組み込めるため既存のUIを維持したり自由な構成が可能。デバイスも選びません。

《標準機能》

転送機能	<ul style="list-style-type: none">○ 高速転送○ 転送容量無制限○ レジューム (Webブラウザ展開中における転送中断再開後、残りのファイル転送を自動再開)○ CDN (サーバ間でファイルを融通する機能)○ 転送最適化 (クライアントリソースに応じた転送強度調整※https通信時のみ)
管理・運用機能	<ul style="list-style-type: none">○ 管理者用操作画面 (Web画面) ・U/Lファイルの閲覧・管理/オンラインドキュメント○ Web APIの提供○ Webhookによるイベント通知機能
OEMを想定した各種付加機能	<ul style="list-style-type: none">○ 承認機能○ アップロードファイル形式の保持 (元ファイルのまま)○ オブジェクトストレージ (S3ほか) への直接保管機能※近日付加予定

【ユースケース】

- I. Web サービス事業のファイル転送性能向上用途
 - ・オンラインストレージ、ファイル転送サービス基盤用途
 - ・企業内 Web サービス基盤用途
- II. 従来の高速ファイル転送製品では導入が難しい業種、業務
 - ・大手・中堅製造業
 - ・スマートフォン/タブレット端末利用業務

【主な仕様】

■ SkeedWebGo の推奨稼働環境

環境項目		推奨バージョン
サーバー側環境	CPU	インテルXeonプロセッサ E5-2603v3以上 複数コア必須
	実行時空きメモリ容量	4GiB以上
	OS	Red Hat RedHat Enterprise Linux/バージョン5以上、CentOS/バージョン5以上、Amazon Linux 2、Windows Server 2012/2012 R2/2016
	Java	Oracle Java/バージョン8
クライアント側環境	ブラウザ	Google Chromeの最新バージョン

■ 価格

価格はオープン価格となります

■ SkeedWebGo のお問い合わせ

S k e e d ファイル転送事業部 TEL : 03-5487-1033 または (ssb@skeed.co.jp) まで

S k e e d W e b G o 製品紹介ページ : <http://skeed.jp/product/skeedwebgo/>

■ 株式会社 S k e e d (スキード) について : <http://www.skeed.co.jp/>

株式会社 S k e e d は独自の高速データ転送技術と創業者の金子勇の P2P 技術を受け継いだ自律分散コンピューティングに基づくネットワークソフトウェア製品を多数開発し提供しております。

S k e e d はこれらのソリューションにより、日常のありとあらゆる場で必須となったインターネットを、より「高速」に「簡単」に「安全」に、そして「安価」に活用したいという要望に応じてきました。IoT、AI、ブロックチェーンなどの新分野においてますます高まるこの期待に、更なる技術革新を通じて応えて参ります。



S k e e d は 2013 年に Red Herring Global Top100 Company に選出されました。

<http://www.redherring.com/events/red-herring-global/rhg2013winners/>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 S k e e d (スキード) 広報担当 : 松岡

TEL : 03-5487-1032 E-mail : pr@skeed.co.jp

※ 本リリースに掲載されている製品名、サービス名、会社名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。